

いのちと暮らしをまもる
防災減災

令和3年4月27日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所

九州中央自動車道(山都中島西IC^{やまとなかしまにし}～矢部IC^{やべ}(仮称)間)が 令和5年度に開通します。

○九州中央自動車道(嘉島JCT^{かしま}～矢部IC^{やべ}(仮称)(延長23.0km))は、地域間の連携を図るとともに、地域産業や物流効率化の支援に寄与し、災害時における代替え道路として機能する道路です。

○この度、山都中島西IC^{やまとなかしまにし}～矢部IC^{やべ}(仮称)(延長10.4km)において、橋梁等の主要構造物の工事に着手し、残る工事工程を精査した結果、令和5年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせ致します。

○引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

○開通により期待される主な効果

- ・観光等地域の主要産業を支援する広域ネットワークの形成
- ・走行性・安全性の向上(線形不良・幅員狭小箇所の回避)
- ・第三次救急医療施設等への救急搬送時間を短縮
- ・災害時における信頼性の高い道路ネットワーク

問い合わせ先:

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 (TEL:096-382-1111(代表))



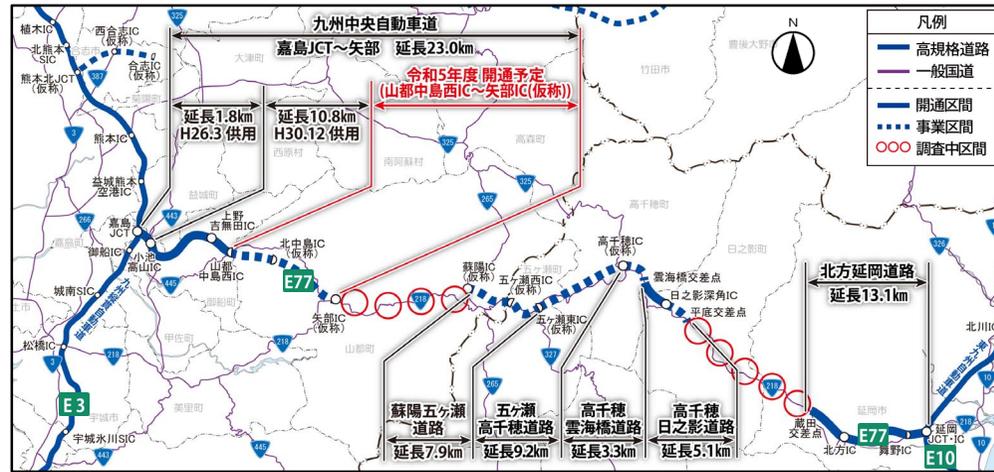
技術副所長 ^{ながた} 永田 ^{てつや} 哲也 (内線205)
工務第三課長 ^{ふたくち} 二口 ^{たかし} 卓史 (内線411)
調査第二課長 ^{ふじき} 藤木 ^{あつし} 厚志 (内線451)

E-mail: gqr-kumamoto-kouhou@mlit.go.jp

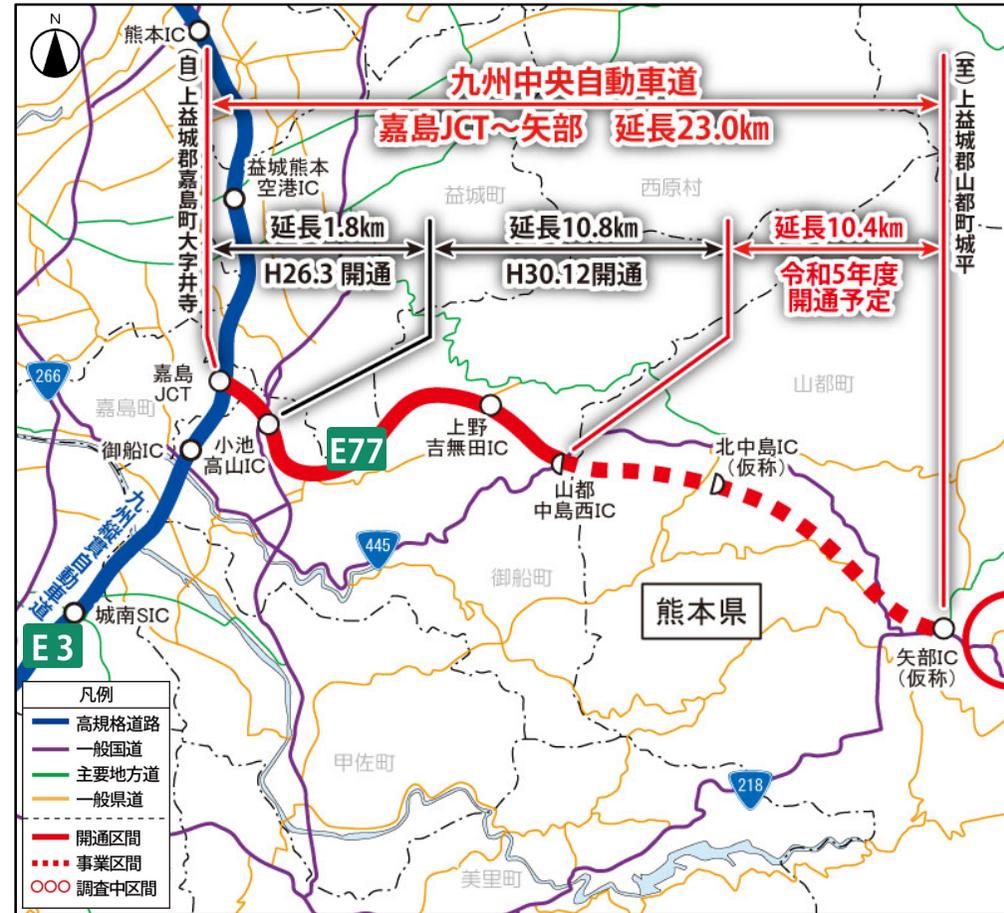
URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>

九州中央自動車道 (山都中島西IC～矢部IC(仮称)間) 位置図

<広域地図>

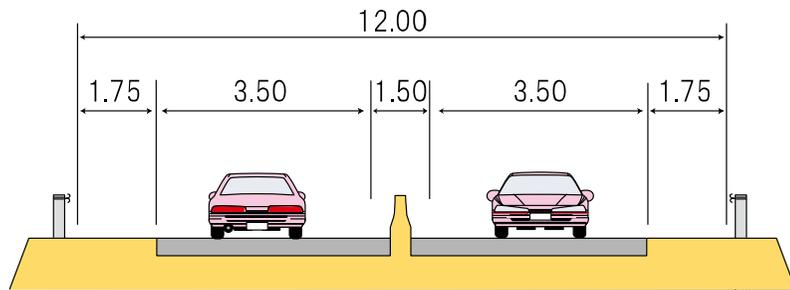


<位置図>



<今回開通区間の標準横断面図>

(単位:m)



○九州中央自動車道の整備により九州中央部を結ぶ広域ネットワークが形成され、熊本市～延岡市間の所要時間が短縮されます。
 ○山都中島西IC～矢部IC(仮称)間の開通により嘉島JCTから山都町までの所要時間が約7分短縮され、山都町への来訪者の約6割を占める熊本市方面からのアクセス性がさらに向上し、熊本地震後回復しつつある観光入込客数の更なる増加が見込まれ、観光等地域の主要産業の支援に寄与します。

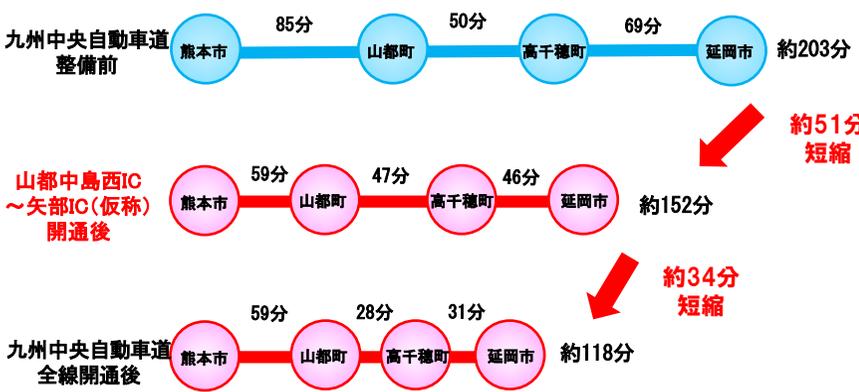
九州内の高規格道路（高規格幹線道路）



熊本市方面(嘉島JCT)～山都町の所要時間短縮

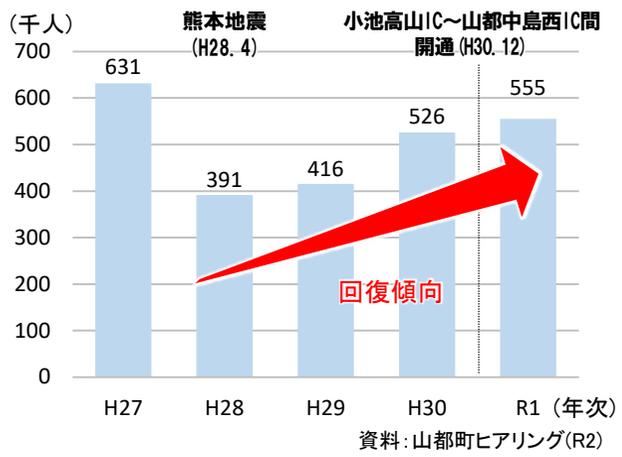


熊本市～延岡市の所要時間

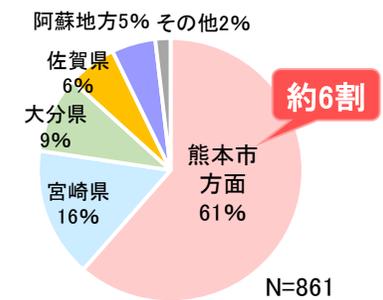


資料:九州中央自動車道整備前、H17全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度で算出
 山都中島西IC～矢部IC(仮称)開通後、九州中央自動車道全線開通後、H27全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度で算出
 ※H27時点で未開通の九州中央自動車道は80km/hとして算出
 ※小数点以下の処理により合計時間が合わない場合がある

山都町の観光入込客推移



山都町への来訪者の内訳



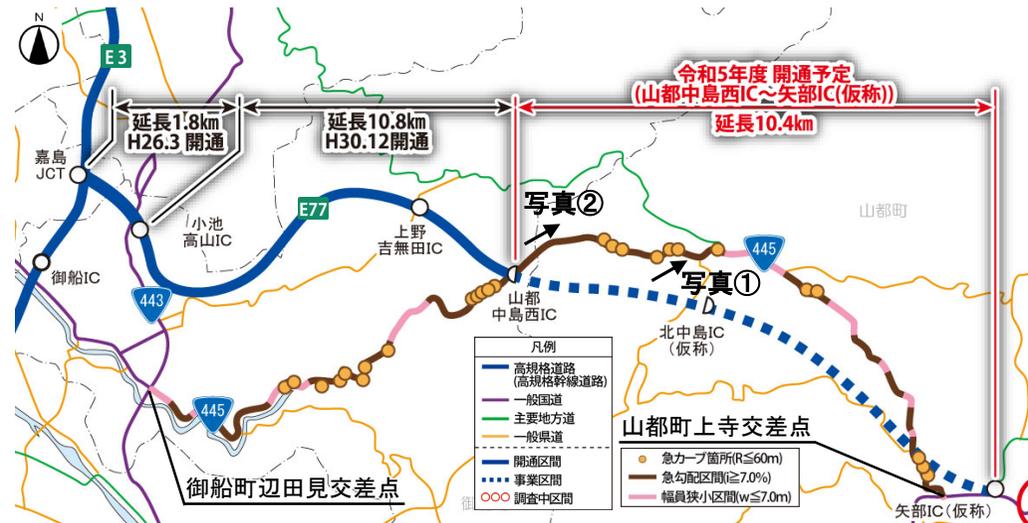
※自市町内を除く観光目的の車両を集計
 資料: ODセンサスマスター(H27)

○九州中央自動車道に並行する国道445号には、平面線形不良箇所や縦断線形不良箇所、幅員狭小区間が多数存在しており、今回開通区間の並行区間(山都中島西IC～矢部IC(仮称)間)の国道445号の急ブレーキ・急ハンドルの発生率は、既開通区間(嘉島JCT～山都中島西IC間)に比べて約3倍多く発生しています。

○また線形不良や幅員狭小区間に起因する正面衝突による交通事故の割合が熊本県内国道平均の10倍以上と高くなっています。

○今回の開通により、線形不良箇所や幅員狭小箇所の回避が可能となり、走行性及び交通安全性の向上が期待されます。

■並行現道(国道445号)の道路状況(御船町辺田見交差点～山都町上寺交差点)

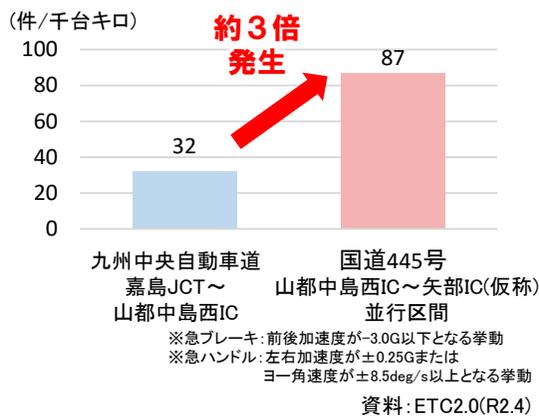


▲写真① 急カーブ(R≤60)

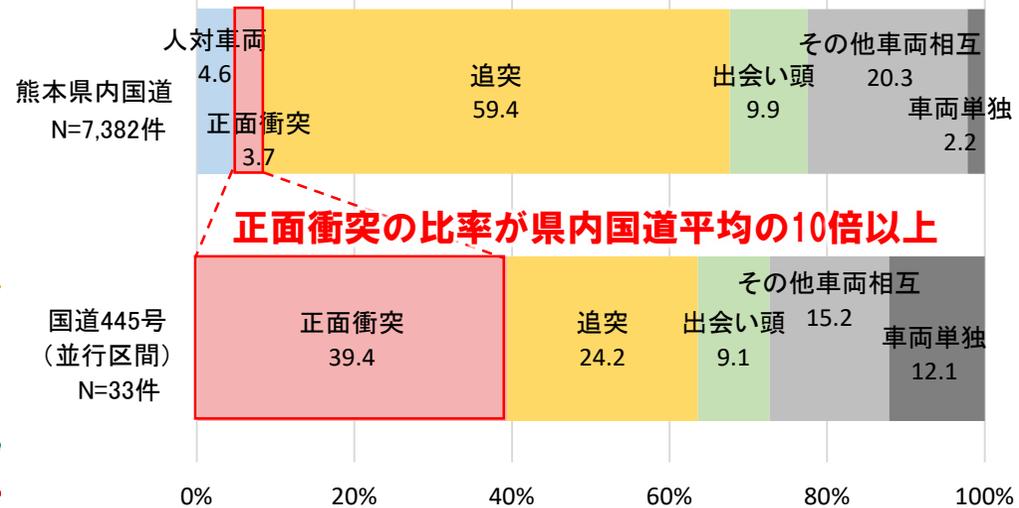


▲写真② 急勾配区間(i≥7%)

■急ブレーキ・急ハンドルの発生状況



■国道445号(嘉島JCT～矢部IC(仮称)並行区間)の交通事故類型



資料:交通事故総合データベース H27～H30(各年の1月から12月の集計)
 ※熊本県内国道全体は直轄、県管理、熊本市管理の一般国道を対象

■国道445号(嘉島JCT～矢部IC(仮称)並行区間)の線形不良箇所や幅員狭小区間の回避

凡例	九州中央自動車道整備前 (国道445号)	今回開通後 (嘉島JCT～矢部IC(仮称))
	(箇所)	(箇所)
急カーブ箇所(R≤60m)	31	0
急勾配箇所(i≥7.0%)	7	0
幅員狭小区間(W≤7.0m)	17	0

線形不良を回避した通行が可能に

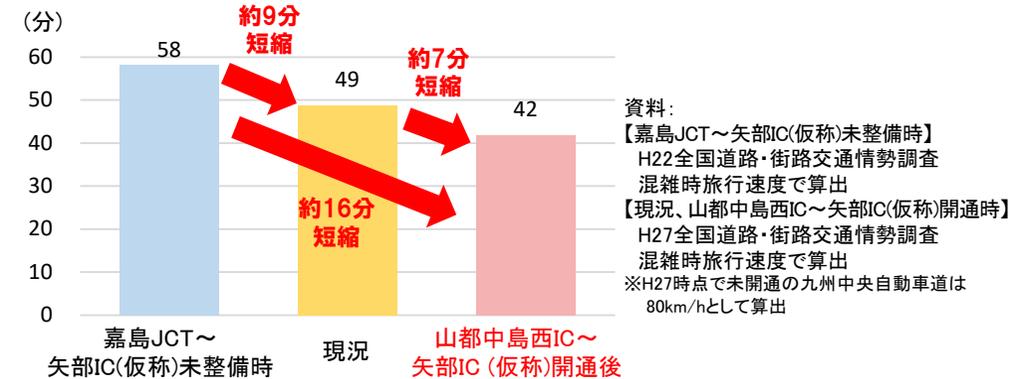
資料:熊本県調査報告書(H18年度)

- 山都町(山都消防署、蘇陽出張所)では、年間700件を超える救急搬送のうち約6割が管轄エリア外搬送であり、そのほぼすべてが熊本市内の病院への搬送となっています。
- また、山都消防署から熊本市内の病院への搬送時間は上益城消防署に比べて長く、患者への負担が大きいことに加え、消防署内の救急車の不在時間が長いことも課題となっています。
- 今回の開通により、熊本市内の病院への搬送時間が短縮することにより、患者の負担が軽減するとともに、消防署への帰署時間が短縮することで救急体制の充実につながることが期待されます。

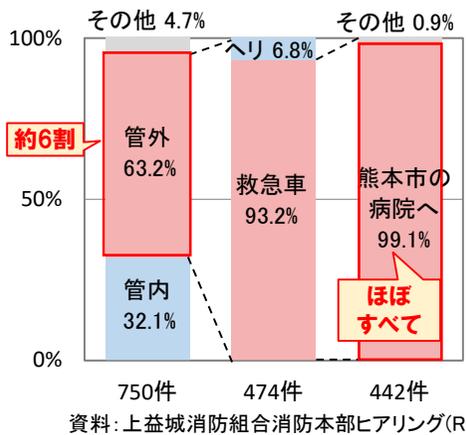
■熊本市内の病院への主な救急搬送ルート



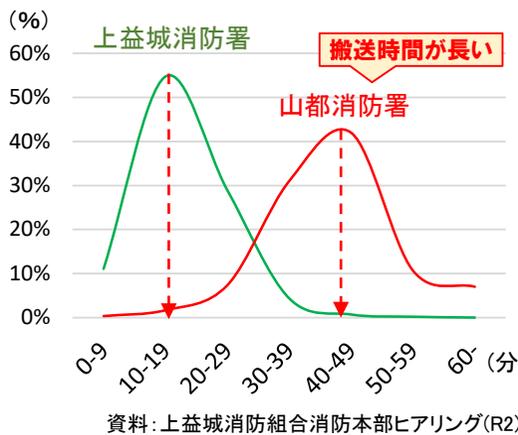
■搬送時間短縮による患者の負担軽減(山都町~済生会熊本病院)



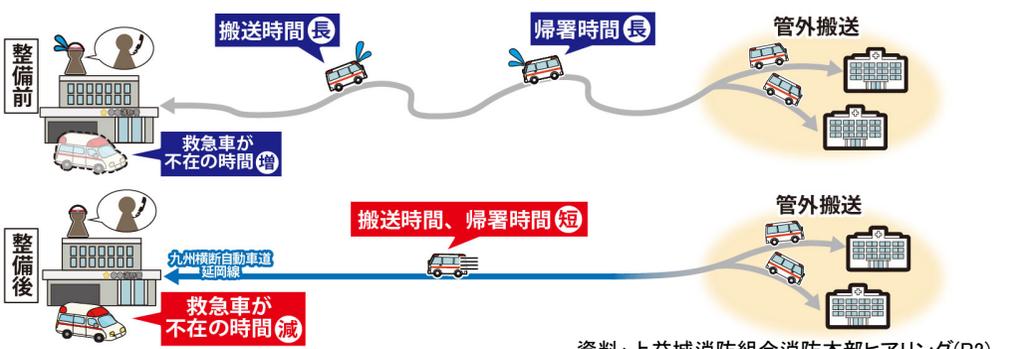
■山都町の救急搬送の実績



■現場から熊本市内の病院への搬送時間



■搬送時間短縮による救急体制の充実(救急車の不在時間の減少)

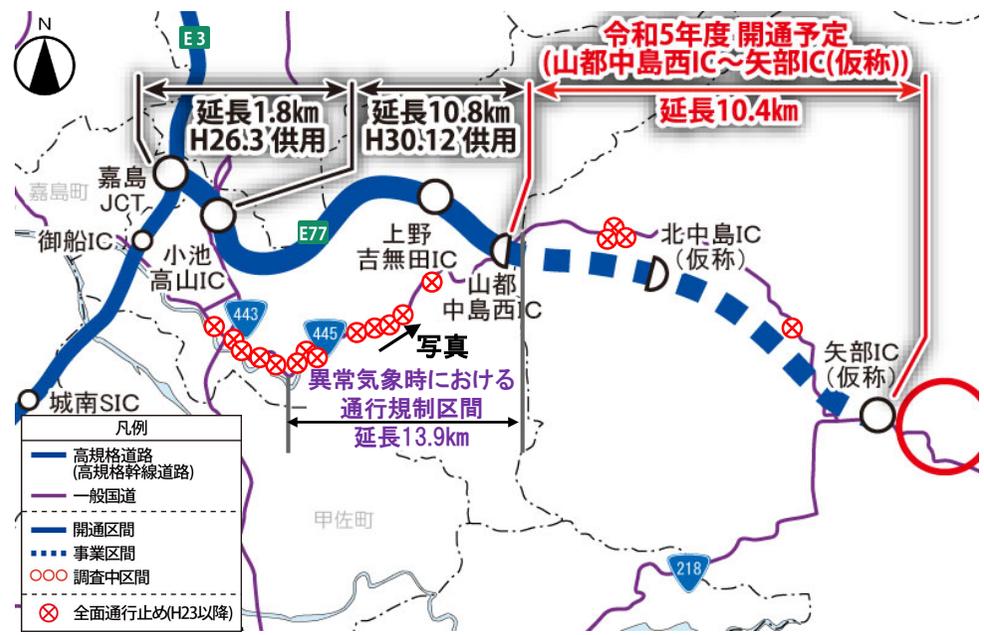


関係者の声(上益城消防本部へのヒアリング)

- ・搬送時間が短縮すれば、早期医療介入が可能となり、救命率の向上が期待されます。
- ・また、熊本市の医療機関の搬送及び帰署の際に九州中央自動車道を利用することで、山都町に救急車が不在となる時間が減少し、救急体制の充実が図られると思います。(上益城消防本部 救急隊員)

○並行する国道445号では災害等により、過去9年間で13回の全面通行止めが発生しており、平成28年に発生した熊本地震では、国道218号と国道445号が同時通行止めになる等、熊本市～山都町間の通勤・通学や救急医療活動等に影響が生じました。
 ○今回開通区間の整備により、災害時における山都町-熊本市間の信頼性の高い道路ネットワークが構築されます。

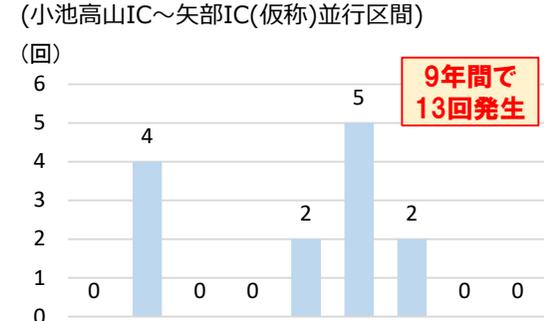
■平成23年以降の通行止め発生状況



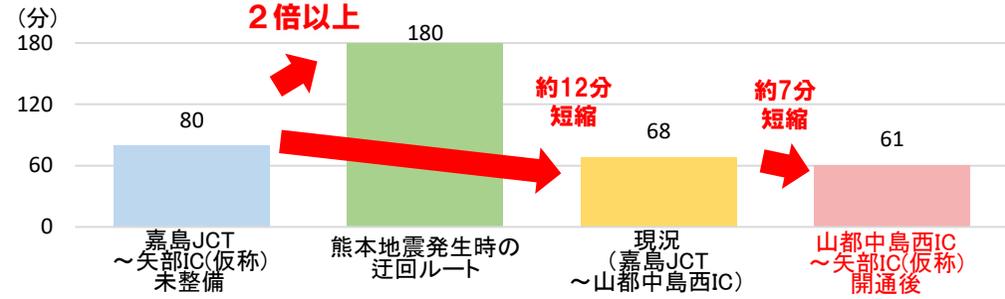
■熊本地震時における山都町から熊本市への移動ルート



■国道445号の全面通行止め発生状況 (小池高山IC～矢部IC(仮称)並行区間)



■山都町～熊本市役所間の所要時間短縮



資料: ETC2.0(R1.10)平日17時台
 ※1 規制速度を10km/h以上超える区間は、規制速度で算出
 ※2 産業道路は、現況の交通状況を勘案し、20km/hで算出 (17時台の平均速度16.7km/h⇒約20km/hと判断)

▲写真
 災害発生状況 国道445号 (平成28年4月熊本地震)